

信念を持ってしなやかに生きる

今年もあとわずかとなり今年一年間自分なりに振り返って思いついた事を記させていただきます。

日本は民主主義国である。だから当然格差はできるものである。権力・財力を持つば自分の理性で抑えきれずますます増長マンになります。

弱い者に対して思いやりや分け与える心がなくなってしまう。少数の意見が正しくても多数決で決める世の中をどのように変えていったらよいのでしょうか？

今の世の中富と権力志向で権威がある人物がいない。また、大切にしなければならぬものを大切にしていない。

野良猫が四匹の子供を産み、私は毎日餌をやっていましたが親猫は子猫が食べ終わるまで自分は食わず、外敵に目を光らせ真剣に子供の猫を守っています。動物でもこのように自分は腹が減っていても子猫に食べさせる情があるのです。

今の世の中、自分さえよければよいという自己主義の社会になっています。

親の生き方・教えを子供はしっかり見えています。(特に3歳から7歳)

たとえ貧しくても親が一生懸命働いている姿を見せるべきです。

真理を会得している人は他人によって左右されることがない。

いかなる偏見や独断に囲まれても精神がびしっとして傾くことがないからどんな論争にも巻き込まれない。

自分の尊信する教えだけを限りなく率直に守り通していくことが大事だと思います。

人生はあまりにも短い。人生への最後の挑戦は優雅に老いることと死に勇気を持って立ち向かうことだと思います。

人は誰でもいつかは死ぬのだ。だから我々が常に考えなければならないのは死を免れようとするのではなく、生きられるだけの時間をどうしたらもっともよく生きるかということだ。

大切なのは単に生きることではなく、よりよく生きることなのである。

最後に、家庭を大事に、三代の前の先祖を敬い、自分から三代後の見本となる生き方を実践することが大事である。

悩んでいる方のメール、お電話をお待ちしています。出張がありますので携帯へ連絡願います。

携帯 090-8225-3456

